

# 道徳

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での 特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長	
教科 独自 観点	(1) 生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。
	(2) 生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。
	(3) 指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。
	(4) 公正な視点から、生徒の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えることができるよう適切に配慮されているか。
	(5) 現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。
	(6) 家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

観点	発行者	東 書	教 出
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	いじめ問題・情報モラル・SDGs・多様性など現代的な課題を考えさせる教材を取り入れることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。	全学年に、いじめ等の人権課題、持続可能な社会、生命の尊さ、をテーマにしたユニットを設定することで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	2年付録「AIとカラー化した写真でよみがえる 戦前・戦争」において、広島原爆を題材として取り上げることで、長崎原爆についても関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。	2年「風に立つライオン」では、本県にゆかりのある青年医師の海外での活躍を、「たくましく生きる」では、山王神社のクスノキを紹介することで、本県への関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長			
(1)	生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。	4人の登場人物が友情を育む物語が3学年にわたってシリーズ化されたり、各学年の付録に小学校道徳の教材を掲載したりすることで、生徒の発達の段階に即して学習を深めることができるよう配慮されている。	全教材に「導入」と「学びの道しるべ」が設けられており、学習前と学習後の考えや心の変容を生徒自身が実感できるようにすることで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。
(2)	生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。	杉原千畝、津田梅子などの先人や、阿部詩、桃田賢斗といったスポーツ選手などの生き方を取り上げることで、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	緒方貞子、杉原千畝、マザーテレサ、植松努、中川翔子、野村萬斎、といった先人や著名人の苦悩と努力を取り上げることで、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。
(3)	指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。	全教材の脚注に「つぶやき」を設け、自分が考えたことをメモし、話合いに活用できるようにすることで、自ら問題を設定し、問題を解決したり、言語活動を展開したりできるように配慮されている。	役割演技や、日常の体験を想起して演じたり話し合ったりする「やってみよう」を設定することで、体験を通して道徳的価値の理解を深め、他者と話し合うことができるよう配慮されている。
(4)	公正な視点から、生徒の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えることができるよう適切に配慮されているか。	「いじめ問題」「生命の尊さ」「情報モラル」「SDGs」について各学年に複数の教材を設定し、一つの内容項目を複数の立場から考えさせることで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。	いじめ等の人権課題、持続可能な社会、生命の尊さをテーマとしたユニット教材や「ひろば」で、多様な考えを交流し合って考えを深めていくことで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。
(5)	現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。	生命尊重やいじめ問題、情報モラルやSDGs、多様性などの現代的な課題について、発達の段階に即した事例を取り扱うことで、自分自身とのかかわりの中で考えを深めることができるよう配慮されている。	生命尊重やいじめ問題、持続可能な社会の形成を基本とし、情報モラル、多様性などの現代的な課題について系統的に配置することで、発達段階に応じた学びができるよう配慮されている。
(6)	家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。	社会参画や家族愛、郷土愛など、地域社会や家族とのつながりを考える教材を複数取り入れ、さまざまなソーシャルスキルを身に付けさせることで、家庭や地域社会との連携を図ることができるよう配慮されている。	全学年で、家族・地域と自分とのかかわりについて考える教材を複数掲載することで、家族や地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を高めることができるよう配慮されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	漢字は、固有名詞や交ぜ書きになる熟語を除き、原則、小学校までに学習した漢字を使用するとともに、難しい表現を避けることで、読解に時間をかけず、考えを深める時間を確保できるよう配慮されている。	短い文章の教材を積極的に取り上げたり、話者が判別しやすいよう会話文の頭にイラストを付けたりすることで、読みの困難を小さくし、教材理解ができるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	教材名下部に馴染みのある漫画の1コマを取り入れたり、漫画教材や図表を掲載したりするとともに、教材全部が漫画のものを掲載することで、興味・関心を高め、学習効果が高まるよう配慮されている。	視覚的に興味・関心を喚起する漫画や絵本を用いた教材、写真から考える教材、SNSのやり取りなどを掲載することで、学習内容を身近に感じ興味・関心を高め、学習効果が高まるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	挿絵や写真、図版を見やすい大きさに適切な位置に配置することで、教材文が読みやすくなるよう配慮されている。	教材文の行下には番号や点を表記することで、効率的に学習活動を進めることができ、教材文が読みやすくなるよう配慮されている。

観点	発行者	光 村	日 文
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	いじめ問題・情報モラル・環境・人権などの現代的な課題をユニットのテーマとして設定することで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。	複数の教材とコラムで構成したユニット「いじめと向き合う」や「よりよい社会を考える」をそれぞれ年間に複数配置することで、いじめや社会の問題を自分のこととして考えることができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	3年付録の「日本の先駆者たち」では、本県出身で日本指導犬育成の創始者である塩屋賢一を紹介することで、本県への関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。	3年「生きてこそー石井筆子の生涯ー」では、本県出身で障害児教育に尽力した石井筆子を紹介することで、本県への関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長			
(1)	生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。	「考えよう」や「チャレンジ問いを立てよう」という手引きを設け、授業で何を考えていけばよいかを明確にすることで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。	各学年のテーマ（1年新しい自分と「であう」、2年人との関係を「みつめる」、3年よりよい人生を「ひらく」）を設定することで、生徒の発達の段階に即して学習を深めることができるよう配慮されている。
(2)	生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。	吉藤健太郎、北村麻子など地域や伝統を守るために努力している人や、田中希実など挑戦し続けるスポーツ選手を取り上げることで、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	マザーテレサ、中村哲、山中伸弥などの先人や著名人、国枝慎吾などのスポーツ選手の苦悩と努力を取り上げることで、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。
(3)	指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。	年間を通して「感動」「尊重」「学び」の本質について他者と話し合う場を設定することで、話し合う喜びを実感し、自分の考えを深めることができるよう配慮されている。	付箋や思考ツールを活用したより効果的な議論の方法を設定することで、対話的・協働的な学びの実現を図り、話し合いを充実させることができるよう配慮されている。
(4)	公正な視点から、生徒の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えることができるよう適切に配慮されているか。	教材末の「考えよう」には別の視点から考えを深めることができる「見方を変えて」や「つなげよう」を設定することで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。	「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」をテーマとしたユニット教材を全学年において配列し、複数の視点で考察させることで、物事を集中的かつ多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。
(5)	現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。	生命尊重やいじめ問題、差別などの人権教育を基本とし、情報モラル、持続可能な社会の形成、防災等の現代的な課題について掲載することで、幅広い内容を系統的に学習できるよう配慮されている。	生命尊重や人権教育、多様性に重点を置き、現代的な課題である情報モラル、持続可能な社会等の教材やコラムをユニット化し全学年に掲載することで、発達段階に応じた学びができるよう配慮されている。
(6)	家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。	全学年の巻末付録には、日本各地の伝統文化や地域の特色を生かした取組などを紹介することで、社会の一員として主体的に行動し、社会に参画することの意義を考えることができるよう配慮されている。	「よりよい社会を考える」をテーマとした教材をユニット化し、3学年で47都道府県すべての地域の事例を話題としたコラムを掲載することで、社会参画や家族について考えることができるよう配慮されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	文章は発達段階と50分の授業で扱うことが考慮された分量で、キーワードやポイントを端的に示すことで、読み取りに偏ることなく、考えて話し合うことを中心に学習できるよう配慮されている。	ミニ教材やコラムを豊富に配置するとともに、文章は平易な表現で、適宜、注釈があることで、自らの力で読み進められるものとなっており、読みへの抵抗が少なくなるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真・図表を適所に取り入れ、漫画教材や絵本から転載した教材等を掲載することで、興味・関心を引き学習効果が高まるよう配慮されている。	教材名下部に写真やイラストを掲載し、漫画教材や写真、挿絵を多用するとともに、話し合い活動など学習の進め方を写真で提示することで、学習意欲や学習効果が高まるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	紙色をやや乳白色にすることで、優しい色合いで視覚への負担が軽減され、教材文が読みやすくなるよう配慮されている。	文章の途中でページをめくることがないようにレイアウトを調整することで、教材文が読みやすくなるよう配慮されている。

観点	発行者	学 研	あか図
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	内容項目「生命の尊さ」の教材を重点的に扱い、他の内容項目においても、「いのちの教育」に関連する教材を多数取り上げることで、生命を尊重する心や人権を重んじる心を育むことができるよう配慮されている。	各学年に生命尊重、自主自律、思いやりを3教材ずつ配置し、「キャリア」「『いじめ』を考える」をユニット化することで、生命尊重、思いやり、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	2年「厳かなるもの」において、日本各地の自然の美しさや偉大さについて取り上げることで、本県の自然環境に対する関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。	3年「風に立つライオン」では、本県にゆかりのある青年医師の活躍を、1年「日本探しの旅」では、長崎県の春日の棚田を紹介することで、本県への関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長			
(1)	生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。	教材の内容項目に即した情報を扱った「クローズアップ」を取り上げることで、日常生活に関連付けた学習を展開し、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	各学年の授業開きで「道徳 はじまりの時間」という教材を配置し、今の自分を振り返って具体的にイメージできるようにすることで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。
(2)	生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。	村岡花子、野口聡一などの先人や著名人、谷真海、イチローといったスポーツ選手の夢や努力を取り上げることで、よりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	安藤百福、ネルソンマンデラなどの先人や、池江璃花子、大谷翔平といったスポーツ選手など、挑戦し続ける人物を取り上げることで、よりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。
(3)	指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。	多様な観点から考えを深める教材を取り上げ、「深めよう」や「学びの記録」を設定することで、問題解決的な学習や体験的な学習、話し合いや記述などの言語活動に取り組むことができるよう配慮されている。	多様な学習活動を実現する「マイプラス」を設定することで、話し合いや役割演技を取り入れた体験的学習や問題解決的な学習を実現し、自分の考えを深めることができるよう配慮されている。
(4)	公正な視点から、生徒の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えることができるよう適切に配慮されているか。	「SDGs」「多様性」「キャリア」のテーマについて、各学年に複数の教材を配列し、教材末の「深めよう」で問いを工夫することで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。	実在の人物にクローズアップする教材や問題意識をもち多様に考えることができる教材、他者との意見交換を促す発問を取り入れることで、多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。
(5)	現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。	いのちの教育、いじめ防止を基本に、現代的な課題である情報モラル、多様性、国際理解等の内容を取り入れ、本編教材と関連が深い特設ページを設けることで、主体性を育むことができるよう配慮されている。	いじめ問題をはじめ、情報モラルやキャリア教育、多様性等、現代的な課題を取り上げたり、世界で活躍する日本人に注目したりすることで、三年間を通して系統的に学習できるよう配慮されている。
(6)	家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。	家庭や地域とのかかわり、テクノロジーと社会参画等についての情報や日本の各地域に関連した内容を掲載することで、家庭や地域とのつながりについて考えることができるよう配慮されている。	家庭や地域との交流や行事を題材としたり、中学生の作文や新聞等を扱った「Thinking」(コラム)を設けたりすることで、家族や地域との交流を自分のこととして考えることができるよう配慮されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	教材の初めに課題マークやキーフレーズを付けるとともに、登場人物や会話文が多い教材文は上下二段組とすることで、話の展開や話者を理解することができるよう配慮されている。	説明を要する言葉には注釈をつけるとともに、各学年で未習の漢字には初出のみならず、全てに振り仮名を付けることで、読み取りに差異が生じないよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	写真やイラスト、グラフなどの図表を用いた補助資料の提示や、漫画やSNSのやり取り、紙芝居の教材を掲載することで、学習意欲や学習効果が高められるよう配慮されている。	内容に適した写真や挿絵、新聞記事、漫画、図表等を掲載することで、教材内容の理解を助け、興味・関心を引き出し、学習効果を高められるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	図表や挿絵、写真を、本文との関係性を考慮し工夫して配置することで、教材文が読みやすくなるよう配慮されている。	教材の冒頭部分には、内容項目の視点のみをマークで示すことで、主体的に教材と向き合い、考えを深めることができるよう配慮されている。

観点	発行者	日 科	
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	キャリア教育を柱とし、発達段階を考慮して、学年ごとに異なるテーマの教材を配置することで、自分の個性や適性をとらえ、社会を生き抜く力を育むことができるよう配慮されている。	
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	1年「行為に込められた思い」では、本県出身のサッカー日本代表森保一監督がワールドカップでの試合後に見せた行為を紹介することで、本県への関心を高め、郷土への思いをもちながら学ぶことができるよう配慮されている。	
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長			
(1)	生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。	学年を追って教材の発問内容を深化させたり、学校生活を舞台としたシリーズ教材を取り上げたりすることで、生徒の発達の段階に即して学習を深めることができるよう配慮されている。	
(2)	生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。	吉田松陰、緒方貞子といった先人や国枝慎吾、井上康生といったスポーツ選手などの苦悩や努力を取り上げることで、よりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	
(3)	指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。	各教材で「考えよう」「深めよう」を設定し、ウェルビーイングカードを活用させることで、自分の考えを深めながら、他者との対話が生まれ、主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	
(4)	公正な視点から、生徒の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えることができるよう適切に配慮されているか。	古今東西の哲学者の格言に触れながら、当たり前を疑い、深く考える教材を設定することで、多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。	
(5)	現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。	生命尊重や人権教育、情報モラルやいじめ防止、国際貢献や環境資源等、現代的な課題や先人の生き方から学ぶ教材を掲載することで、日常生活と関連付けて学習できるよう配慮されている。	
(6)	家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。	家庭や社会の一員としてのよりよい過ごし方やその姿について考えを深められる教材を複数配置したり、補助資料を読んだりすることで、家庭や地域とのつながりを意識することができるよう配慮されている。	
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	学年が上がるにつれて文章量を増やすとともに、会話文を多く用いて表現することで、教材文の内容を理解しやすくし、自分事として考えられるよう配慮されている。	
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	課題に対して考えを深めていくきっかけとして4コマ漫画を配置したり、課題を分かりやすくするために漫画教材を活用したりすることで、興味・関心を引き学習効果を高められるよう配慮されている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	優しい色合いの挿絵を効果的に配置して余白を多くすることで、教材の内容を読み取りやすくなるよう配慮されている。	